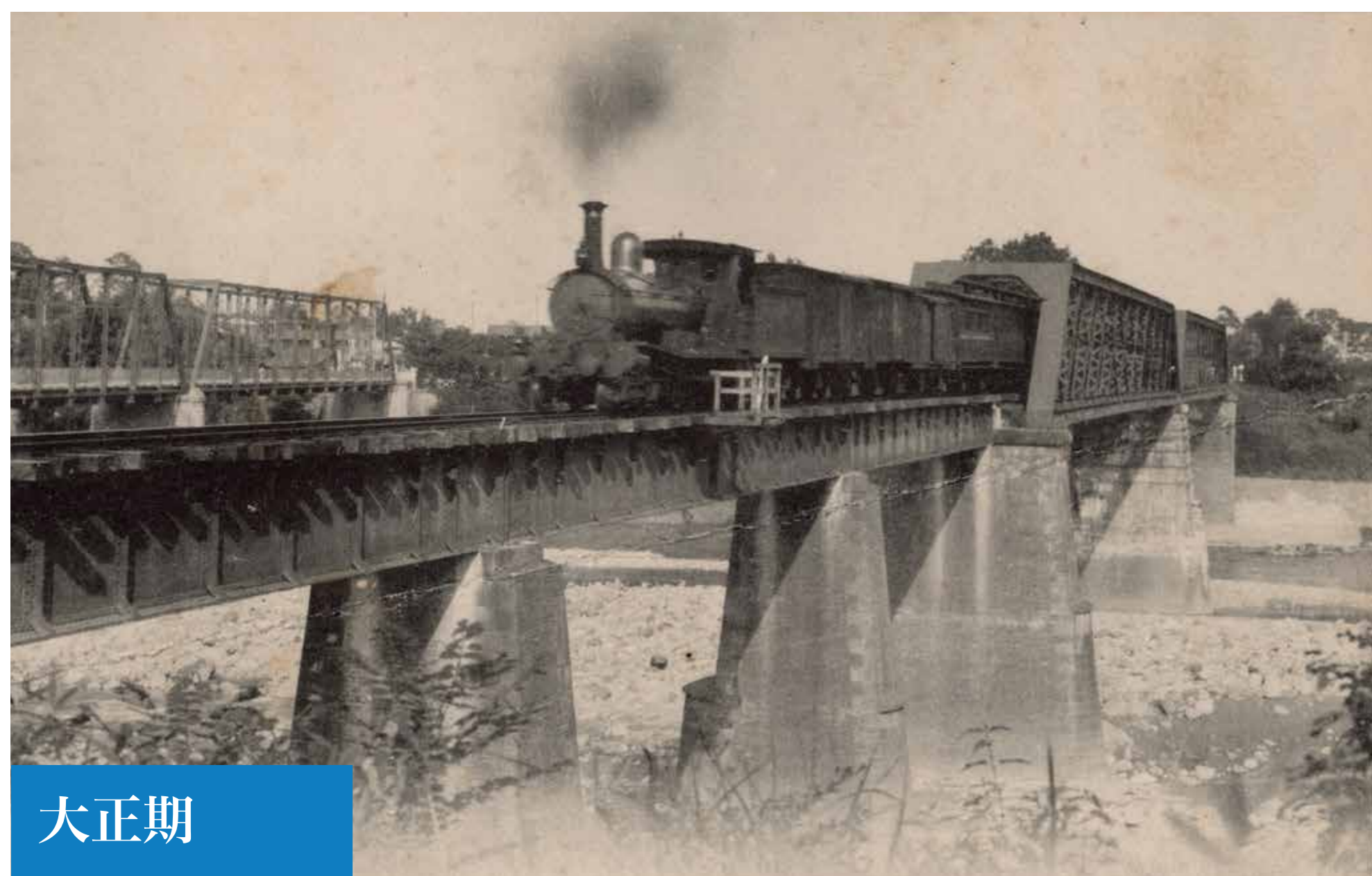


このまちの100年

「前橋」

前橋は江戸時代に繭・生糸の集積地となり製糸産業が発達、明治期以降の近代化の原動力となりました。明治14年に県庁所在地となり、現在も行政・文化の中心地として発展しています。



大正期

利根川鉄橋を渡り前橋から高崎方面へ向かう蒸気機関車。奥には道路橋の利根橋が見える



大正15年頃

堅町(たつまち)通り(現在の千代田町付近の国道17号)を通る伊香保電気軌道の路面電車



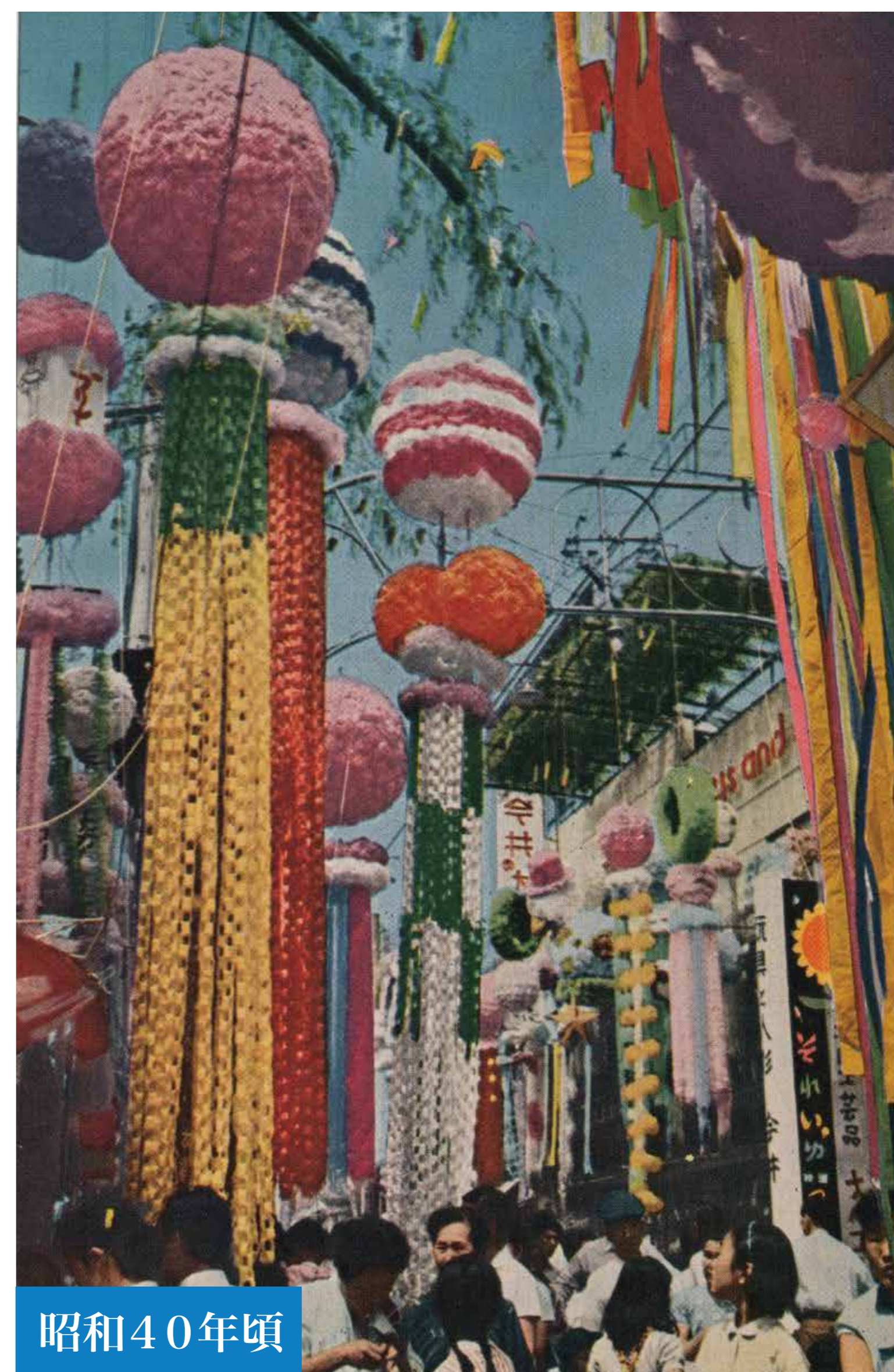
昭和5年頃

昭和3年に竣工した群馬県庁舎



昭和30年代

前橋中央通り商店街の夜景。麻屋百貨店(現・前橋中央イベント広場)付近から南方面を望んでいる



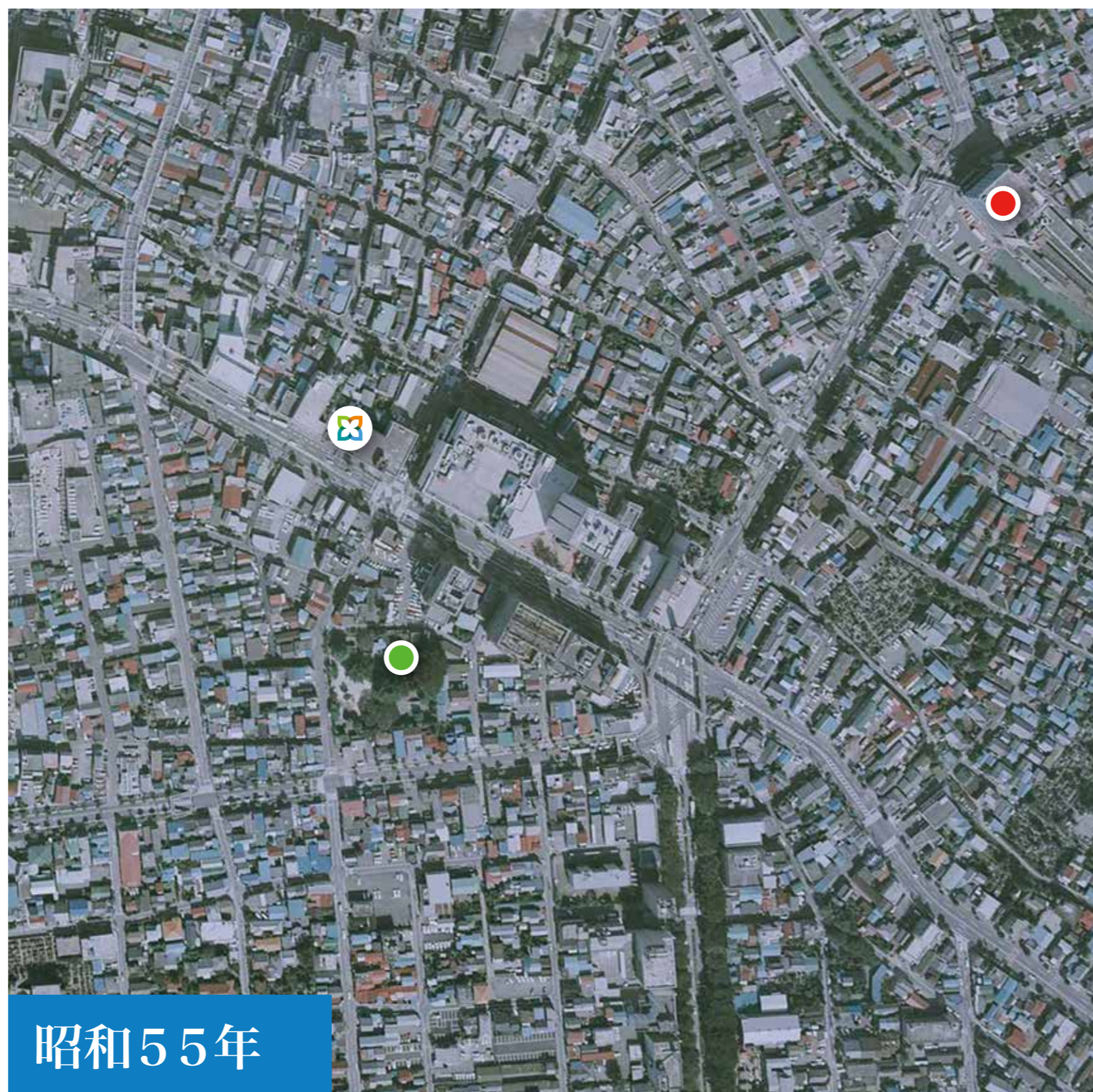
昭和40年頃

前橋の七夕まつりは昭和26年から本格的に開催されてきた

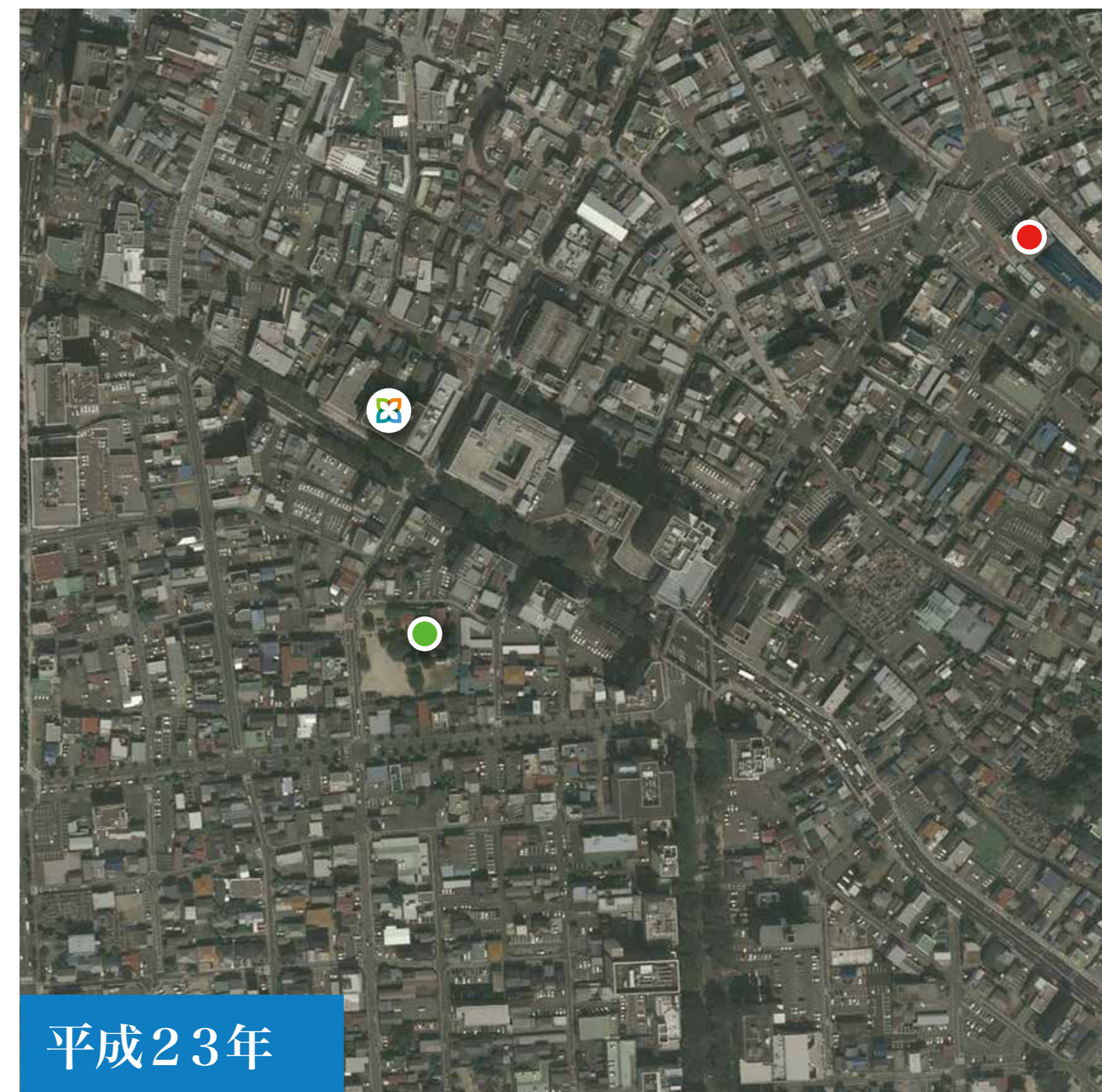
上空からみた前橋エリア



昭和21年



昭和55年



平成23年

📍 : 現在地
● : 前橋八幡宮 ● : 中央前橋駅

出典: 国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集: 株式会社コロマチ